

お役に立てるお薦めの

8冊



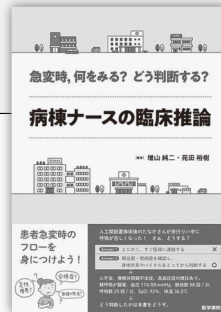
そうだったのか! 精神科の病気

その人には何が起きていて、
どうケアすると助けになるのか

中村 創 著

精神科の病気は理解しにくい面がある。統合失調症、うつ病、双極症、依存症、パーソナリティ症など、疾患ごとに患者さんの内部で起きていることや経験は異なる。ベテラン精神科看護師がその核心を解説し、どう関わるのが助けになるのかを根拠とともに提示する。精神疾患をもつ人を支えるすべての人の好適書。

定価：2200 円(本体 2000 円 + 税 10%) / 医学書院



急変時、何をみる? どう判断する?

病棟ナースの臨床推論

増山純二、苑田裕樹 編集

入院患者が急変した際、看護師は目の前の現象のどこに着目し、どう判断し、何をするのか。本書は、急変対応の基礎の看護アセスメント、呼吸、循環、脳神経のフィジカルアセスメント、問診、身体所見のポイントについて解説。さらに、患者急変時の対応フローを疑似体験しながら、その理解を深める。

定価：2970 円(本体 2700 円 + 税 10%) / 医学書院



わたしが誰かわからない

ヤングケアラーを探す旅

中村佑子 著

ヤングケアラーという言葉が括られることによって見えなくなってしまう、一人一人の多様な個のあり方に近づきたい。そんな思いで始まった取材はいつのまにか、同じくヤングケアラーであった自らの記憶をたぐりよせる旅に変わっていた。著者は立ち止まり、迷走し、そしてふたたび祈るように書き始めた。

定価：2200 円(本体 2000 円 + 税 10%) / 医学書院

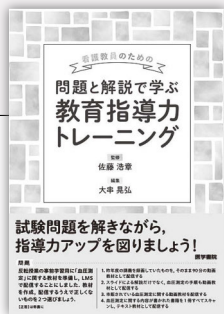


超人ナイチンゲール

栗原 康 著

鬼才文人アナキストが、かつてないナイチンゲールを語り出した。著者はナイチンゲールがクリミア赴任前に書いた自伝的小説『カサンドラ』で、彼女と出会った。その人は聖女でも合理主義者でもなく、近代的個人のあり方を軽々と超える人だった。そこに、誰も知らなかったナイチンゲールがいた。

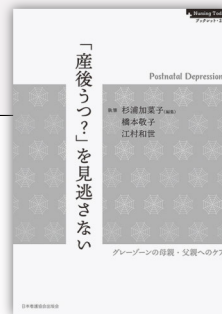
定価：2200 円(本体 2000 円 + 税 10%) / 医学書院



看護教員のための 問題と解説で学ぶ 教育指導力トレーニング

佐藤浩章 監修
大串晃弘 編集

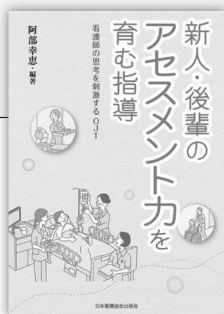
多くの看護系大学、専門学校では、教育能力を育成するための研修を提供していない。本書は、こんな状況で孤軍奮闘する看護教員に、教育学と看護学の専門家が看護教育の文脈で教育学の基礎を指南。問題と解説という形式で、教育指導の知識を学びやすく構成した。初心者だけでなくベテランも必読の1冊。
定価：2640円(本体2400円＋税10%)／医学書院



「産後うつ？」を見逃さない グレーゾーンの母親・父親へのケア

杉浦加菜子 編
橋本敬子、江村和世 著

産後うつには、産後ケア事業など行政の支援が行われてきた。しかし、妊娠、出産、育児からの精神的不安定さを抱えているにもかかわらず、支援が届かない母親や父親がいる。本書では、産後うつ未満というグレーゾーンの母親、父親の実態や支援の届きにくい現状と医療職や社会に求められる支援のあり方を思考する。
定価：1100円(本体1000円＋税10%)／日本看護協会出版会



新人・後輩のアセスメント力を 育む指導 看護師の施行を刺激する OJT

阿部幸恵 編著

新人・後輩を指導する先輩ナースは「指導の時間がない」と嘆く。本書は、「先輩ナースが日々行う看護実践のすべてが指導である」を前提に、アセスメント力を磨く方法を、ケア場面に沿ったOJTでの声かけと行動に引きつけて解説。さらに指導の心得7か条、実践型看護過程に沿った思考力を育む指導例を伝授する。
定価：3080円(本体2800円＋税10%)／日本看護協会出版会



頭のうえを何かが

岡崎乾二郎 著

現代抽象画家が脳梗塞で倒れた。右半身麻痺の状態です1カ月後、麻痺した右手で絵を描き始めた。太い色鉛筆で絵を描くことがリハビリの一環になった。描き始めからの40作以上の絵とともに、「ストローク(脳梗塞)は僕にとって恩寵でした。そして深い教訓でした」と語り、病をも創造の糧とする示唆にあふれた手記。
定価：2530円(本体2300円＋税10%)／ナナロク社